

科目名	研究倫理 <sup>(*)1</sup>			分野・必選別・単位数	共通科目	必修	1単位
担当教員	◎教授 石川ひろの 教授 福田吉治 准教授 井上まり子 講師(非) 瀧本禎之 講師(非) 中澤栄輔					科目ナンバー	T1A101
課程	修士	配当年次	1年	配当学期	前期	授業方法	講義
授業の概要	ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言といった生命倫理と医の倫理に関する規範の意味やその歴史的流れをふまえながら、患者の基本的権利について理解する。真実の告知、インフォームド・コンセント、パターナリズム、死の受容、安楽死、尊厳死などの具体的問題に対して、事例を通じた討論を行う。さらに医師法や医療法といった関連する医事法制を整理し、守秘義務、応召義務、医学的無益性、医療資源の配分、メタ倫理といった様々な倫理的問題についても学ぶ。(公衆衛生学研究科:「公衆衛生倫理学」合同開講)						
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般目標(GIO)               <ol style="list-style-type: none"> <li>保健医療の現場において意思決定を行う際に必要な医療倫理の基本的な知識・考え方を身に付ける。</li> <li>保健医療、公衆衛生領域における研究倫理について理解する。</li> </ol> </li> <li>行動目標(SBO)               <ol style="list-style-type: none"> <li>倫理的観点から対応が困難と想定される事例において、自分の考えを述べることができる。</li> <li>研究倫理についての基本的な知識に基づき、必要であれば研究倫理審査のための手続きをとることができる。</li> </ol> </li> </ul>						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	石川ひろの	教授	【4/14(水)4時限】医療・公衆衛生倫理学総論(LMS視聴可能) 医療倫理に関する歴史的背景を中心に、概略について学ぶ。			
	2	瀧本 禎之	講師(非)	【4/21(水)4時限】医療者・患者関係と医療倫理(LMS視聴可能) 医療者-患者関係モデルについて基礎的な知識を学び、具体的な事例検討を通して医療者・患者関係モデルを理解する。			
	3	福田 吉治	教授	【4/28(水)4時限】公衆衛生専門職の研究倫理の実際(LMS視聴可能) 研究や論文執筆を行うに当たって必要な倫理的知識、具体的な倫理申請の手続きについて学ぶ。eLCoREの説明と導入。			
	4	中澤 栄輔	講師(非)	【5/12(水)4時限】医療倫理の四原則(LMS視聴可能) 患者の権利、インフォームドコンセントについて、その歴史的背景、法的根拠などについて学ぶ。			
	5	中澤 栄輔	講師(非)	【5/19(水)4時限】医療倫理の四原則(LMS視聴可能) 患者の権利、インフォームドコンセントについて、その歴史的背景、法的根拠などについて学ぶ。			
	6	石川ひろの	教授	【5/26(水)4時限】研究倫理審査申請の実際(LMS視聴可能) 研究倫理審査書類の作成における注意点を学ぶ。APRIN eラーニングプログラム(eAPRIN)の説明と導入。			
	7	井上まり子	准教授	【6/2(水)4時限】公衆衛生倫理(1)(LMS視聴可能) 公衆衛生倫理学の沿革、主要な倫理的課題の事例の紹介、公衆衛生倫理学のアプローチ方法について学ぶ。			
	8	井上まり子	准教授	【6/9(水)4時限】公衆衛生倫理(2)(LMS視聴可能) 社会的な不平等、パターナリズム、個人の自由と集団の利益など、具体的な事例をもとに政治哲学の理論を紹介する。理解を深めるためケーススタディを用いて討論する。			
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。					
	【事後学修】	各回の授業内容で分からない専門用語があれば、次回までにその意味等を復習して理解しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に15時間以上の予復習が必要。					
教科書	・特定のテキストは設けない。必要に応じて資料を配布する。						
参考書	・赤林 朗・児玉 聡 編 『入門・医療倫理III 公衆衛生倫理』 勁草書房 2015年						
成績評価の方法および基準	(1) 研究倫理eラーニングコース(e-Learning Course on Research Ethics: eLCoRE)の修了 (30%) (2) 講義ごとのワークや課題 (50%) (3) 講義での発言や議論 (20%) ※講義視聴システムで受講の場合は閲覧履歴および確認テストとする 注意) 課題、レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は、原則として減点の対象とする。						
その他履修上の注意事項	(*)1)2021年度以降入学生のみ履修可 試験やレポートに対し、講義の中で解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP1が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。 時間割を変更して実施(1時限9:30~11:00、2時限11:10~12:40、3時限13:30~15:00、4時限15:10~16:40、5時限16:50~18:20)						